



2018年4月26日

各 位

会 社 名	クラリオン株式会社
代 表 者 名	代表執行役 執行役社長兼CEO 川 端 敦 (コード番号 6796 東証第一部)
問 合 せ 先	
責任者役職名	執行役 経営戦略本部長
氏 名	平 山 公 之
T E L	(048)601-3700 (代表)
当社の親会社	株式会社日立製作所
代 表 者 名	代表執行役 執行役社長兼CEO 東 原 敏 昭 (コード番号 6501 東・名)

事業ポートフォリオ改革の加速に伴う 経営資源の選択と集中の進捗に関するお知らせ

2018年1月30日に公表いたしました「事業ポートフォリオ改革の加速に伴う経営資源の選択と集中による一時費用計上」における「グローバル要員体制の見直し」の進捗状況につきまして下記の通りお知らせします。

1. 当初の見込みと当期決算における影響について

(1) グローバル要員体制の合理化対策(当初見込)

時期：2018年4月13日まで

範囲：日本、米州、欧州、アジア・豪州

要員合理化規模：450名規模想定

当期一時費用計上額：29億円

施策：国内においては、所定の退職金に対する加算金の支給及び希望者に対する再就職支援の実施、当社グループ外への配転、海外においては拠点機能再編による人員の見直し

(2) 当期決算における影響

要員合理化の結果

当期要員合理化数：384名

なお、今期の継続施策として、海外事業会社における再編施策に伴う合理化人員として50名を見込んでおり、計434名の合理化となります。

当期決算における影響額

19億円

なお、今期における継続施策による影響額については、3億円を見込んでおります。

2. 今後の施策について

開発機能につきまして、本年4月1日付で推進部署を設置し、成長地域である中国でのカーナビゲーション開発の機能移管を加速し、成長地域での事業競争力を強化いたします。国内は成長分野であるコネクテッド、セーフティアンドインフォメーション事業に開発リソースをシフトさせ、日立グループとの連携のもと更なる強化をはかります。

グローバル生産体制の再編として、中国、アジア地域での生産最適化を進めております。具体的には、中国及びタイ拠点間でメカニズム、オーディオ製品の生産集約、移管を進めております。生産体制の再編は、今後も継続してまいります。

当社は今後も事業ポートフォリオ変革に向けた経営資源の選択と集中により、スマートコックピット構想の具現化を加速し、車両情報システムソリューション事業を強化してまいります。

以上